

# 特産実サンショウと樽漬け

特産実サンショウの収穫時期が到来する5月下旬、止々呂美特産物センターでは「実サンショウ」の集荷作業がピークを迎え、同センターにて山椒の樽漬け作業を行いました。

実サンショウを出荷している吉田周平さんの圃場では、山の斜面を利用している為、日当たりが良く、とても立派な実サンショウがな

つていました。  
栽培している「朝倉山椒」は実が大きく、ピリッとした辛味や爽やかな緑色なのが特徴。ただし、収穫時期が非常に短く、少しでも収穫が遅れると中の種が黒くなってしまって、収穫のタイミングが重要です。収穫時間が始まる、1週間から10日ほどで全ての実サンショウの収穫をしなければならず、とっても大変な作業だそうです。

生産者から集められた実サンショウは農産物直売所などでも販売し、一部を樽漬けにしました。

樽漬け作業は機械で作業をすると実が潰れてしまうことから、足で踏み込む昔ながらの方法で行われます。4人で直径約1・6m、深さ約2mの木製の樽に入り、45分間休みなく足で踏み込むことで実サンショウと塩が適度に混ぜ合わされ、絶妙な柔らかさになります。この作業をすることで、風味を損なわず、長期保存が可能となります。

実サンショウの収穫をする吉田周平さん

●



集荷された実サンショウを確認する職員

●



樽漬けの様子

# 「ハッピーマイライフ」体験文で優秀賞を受賞

「ハッピーマイライフ」体験文において、東郷支店管内の原田綾子さんが見事優秀賞を受賞されました。JA全国女性組織協議会と家の光協会が共催しているもので、「家の光家計簿」の記帳体験についてを執筆し、応募されたものです。

受賞された原田さんにお話ををお伺いしました。

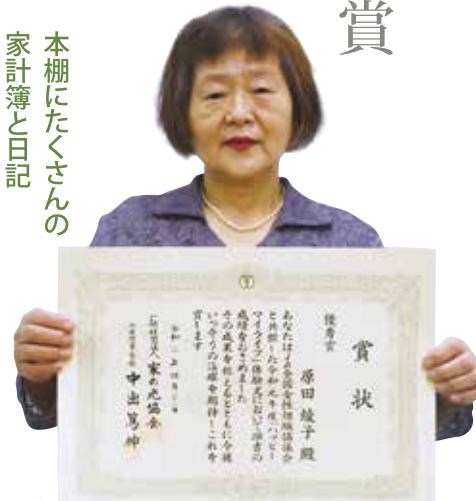
## 今回応募されたきっかけは?

偶然が重なり応募することになりました。元々、家の光の家計簿をつけており、見直していたタイミングで募集していることを知り応募しました。

## 昭和53年から続く家計簿

家の光の家計簿は農家に嫁いで来たあと、昭和53年に出会いました。そこからは毎年つけています。家計簿の他に日記もつけていて、「毎日書く」と言うより「思ったことを書く」という事をしています。

本棚にたくさんの家計簿と日記



40年以上家計簿と併せて日記をつけてきたので冊数もだいぶ多くなってきました。たまに折角の機会なので以前の家計簿と現在の家計簿をパソコンに入力しデータで見比べてみると今にしました。見比べてみると今ではどうやって生活をしてきたのか不思議に思うような家計簿でした。

今回は昔の出来事を書いて応募してみましたが、「テーマが『家の光家計簿』や『わたしノート』だったので書く内容に迷いましたが、これまでの日記と家計簿を見て、パソコンで原稿を作成したが、これまでの日記と家計簿をみて、家族に添削してもらい完成しました。

引き続きパソコンも活用します。家計簿をつけていきたいと思います。

## 新入職員が水稻栽培の一環として田植え体験

4月30日(木)、5月15日(金)、28日(木)3日間、当JAの実習田において新入職員が水稻栽培実習を行いました。新入職員は「田植え機を操作しての田植えは初めてなので、難しかったですが良い経験になりました。今後の稻の生長が楽しめます。」と話してくれました。



## 特産米シルク21の寄贈

6月9日(火)豊中市社会福祉協議会へ特産米「シルク21」200kgを寄贈しました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛で減収した学生(外国人留学生を含む)や市民への食材支援に役立ててもらうことを目的として寄贈しました。同協議会によりコロナ禍により生活が困窮した学生や市民へ配られました。



## 夏野菜の基礎栽培講習会

6月24日(水)當農生活部本店会議室にて、農産物直売所の出荷者を対象に夏野菜の基礎栽培講習会を開催しました。當農担当職員が講師となり、きゅうりの仕立て方、ナスの選定方法、スイカの適期収穫についての座学の後に、実際に実習圃場に移動して、剪定の実習を行いました。



## 組合員の田んぼで児童が田植え体験と園児が泥んこ遊び

6月22日(月)池田支店管内の組合員、田邊義和さんの圃場で池田市立石橋小学校5年生109名が田植え体験学習を行いました。児童らは水田で土の感触を楽しみながら先生の掛け声に合わせて手際よく田植えを行いました。さらに、学校法人亀之森住吉学園住吉保育園の年少～年長までの園児約40人が、田んぼで泥んこ遊びをしました。田んぼに生息しているアメンボやカエルなどを捕まえたり、追いかけっこをして、水田での土の感触を楽しみました。



### 日帰り体験

## J A 大阪北部 親と子の食農体験学習

小・中学生対象

豊中高校能勢分校の生徒さんと一緒に能勢分校の農場で養蜂体験とブドウを収穫して「食」と「農」の関わりを学ぼう!



● 申込み締切日 <b>令和2年8月12日(水)</b>	● 参加費用 <b>小・中学生(ひとり様) 1,000円 保護者(ひとり様) 2,000円</b>	● 参加条件 <b>JA大阪北部管内(豊能町・能勢町・池田市・箕面市・豊中市)在住の小・中学生とその保護者</b>	● 体験実施日 <b>令和2年9月12日(土)</b>
★ 詳しくは、当JA公式ホームページまたは各支店・農産物直売所に備え付けのチラシをご覧ください。	★ 締め切り後に抽選を行い、結果はご応募いただいた代表者の方全員にご案内いたします。	※ 参加条件以外のお子様を連れての参加はできません。	※ 参加者的人数がお子様の人数を超えていないこと。
● 申込み締切日 <b>令和2年8月12日(水)</b>	● 参加費用 <b>小・中学生(ひとり様) 1,000円 保護者(ひとり様) 2,000円</b>	● 参加条件 <b>JA大阪北部管内(豊能町・能勢町・池田市・箕面市・豊中市)在住の小・中学生とその保護者</b>	● 体験実施日 <b>令和2年9月12日(土)</b>
● 申込み締切日 <b>令和2年8月12日(水)</b>	● 参加費用 <b>小・中学生(ひとり様) 1,000円 保護者(ひとり様) 2,000円</b>	● 参加条件 <b>JA大阪北部管内(豊能町・能勢町・池田市・箕面市・豊中市)在住の小・中学生とその保護者</b>	● 体験実施日 <b>令和2年9月12日(土)</b>

